地域課題・ニーズシート

整理番号	M	団体名	島根県美郷町 企画推進課	検討の段階	■ 構想　□ 調査・検討 □ 事業化検討
取り組みたい分野		地域エネルギーマネジメント／余剰電力の地域内活用／営農型太陽光			
関連する地域課題		防災力の強化／地域経済の活性化・域内の資金循環／農業の担い手不足・耕作放棄地			

①解決したい課題

既存の太陽光発電・蓄電池・EVを活かし、電力を地産地消することで、コスト削減と防災力の向上を図りたい

② 主に相談したいこと（提案先の指定にはこの課題番号をお使いください）

課題番号	相談したいこと	求めている情報・提案の例
M－1	**地域内のエネルギー管理**	既存の太陽光発電・蓄電池・EVや住宅の太陽光を束ね、既存の電力系統を使って町内で電力を融通・消費する仕組み（CEMS）
M－2	**事業性・費用対効果の検証**	既存設備の統合運用や、地域内での電力融通・小売を組み合わせた場合の事業性、費用対効果、技術的な課題についての意見
M－3	**営農型太陽光発電**	田んぼの畦畔（傾斜地）などに20～30kW程度の太陽光を分散して設置し、農業の収益改善や負担軽減、防災にもつなげる事業モデル
M－4	**余剰電力の水道施設活用**	日当たりが悪く太陽光の設置に向かない水道施設に、他の施設の余剰電力を供給し、電気代と水道料金の上昇を抑える方法
M－5	**全体の取りまとめ・事業化**	発電・蓄電・需給管理をまとめて担い、計画だけでなく事業化まで一緒に進められる事業者（民間主体での運営を想定）

上記に限らず、課題の解決につながるご提案を幅広く歓迎します。

③想定される連携先の例（これに限りません）

地域エネルギーマネジメント（CEMS・VPP）の事業者／小売電気事業者・地域新電力／蓄電池・EV充放電設備の事業者／営農型太陽光発電の事業者／太陽光発電の施工・保守事業者／エネルギー事業の事業化を支援するコンサルタント

④ 検討の状況・留意事項

・町が直接運営せず、民間事業者が主体となって運営する形を想定しています
・自営線は費用が大きいため想定しておらず、既存の電力系統の利用を前提としています
・現在の検討に限らず、新たな技術や事業モデル、既存設備との組合せによる提案を幅広く歓迎します
・系統接続の見通しと、既存設備の統合運用の事業性の検証が課題です

⑤背景・現状

・公共施設等に太陽光発電約770kW・蓄電池約1,600kWhを整備し、年間約280MWhの余剰電力が発生
・公用車や一般家庭にEVが約50台普及し、住宅への太陽光発電の導入も進んでいる
・営農型太陽光発電は町有地での実施にとどまり、民有地では所有者と耕作者の違いや農地転用の手続きが課題
・環境省の交付金を活用する場合は自己託送が不可であり、地域内の融通には小売電気事業者の仲介が必要

⑥これまでの取組

・令和２年度：国の補助事業で公共施設10施設に太陽光・蓄電池を導入（庁舎は地中埋設の自営線で接続）
・令和４～８年度：重点対策加速化事業で公共施設、移住定住住宅、農業用ハウス等に太陽光を導入
・民間の太陽光（約60件・約400kW）や高効率空調・照明（約400件）の導入を補助

【お問合せ先】地域脱炭素中国地方版マッチングイベント事務局（備前グリーンエネルギー株式会社内）
E-mail：bge@bizen-greenenergy.co.jp　TEL：0869-63-3600